

*Together with farmers*

# 佐久総合病院 看護部

Information Book



佐久総合病院統括院長  
わたなべ ひとし  
渡辺 仁



## 看護職を志す皆さんへ

佐久総合病院は、1944（昭和19）年に開院した農業協同組合の病院です。「農民とともに」を合言葉に、常に地域のニーズに応えることを旨とし、一貫して地域医療を実践してきました。私たちの病院グループは現在、第一線医療から急性期・専門医療を分担する3病院と1診療所、2つの老人保健施設、6つの訪問看護ステーション、宅老所、人間ドックなどを有する保健・医療・福祉の複合体となっています。

開院した当初は総勢7人であったスタッフ数も、今では2,300人を数えます。なかでも看護部は1,200人を超え、専門職の技術力と豊かな人間力で、チーム医療の要として活躍しながら、佐久総合病院と地域を一丸となって支えています。

看護に対する高い理想を実現するうえでは、人材育成が欠かせないと考えています。当院は充実したプログラムを備えており、それを通じて職場の仲間から、そして地域から信頼される看護師が数多く育っています。

私たちは皆さんをお待ちしています。夢のある地域づくりを、ぜひ一緒に実践していきましょう。

## Hospital philosophy 病院理念

佐久病院は「農民とともに」の精神で、医療および文化活動をつうじ、住民のいのちと環境を守り、生きがいのある暮らしが実現できるような地域づくりと、国際保健医療への貢献を旨とします。



## Nursing philosophy 看護部理念

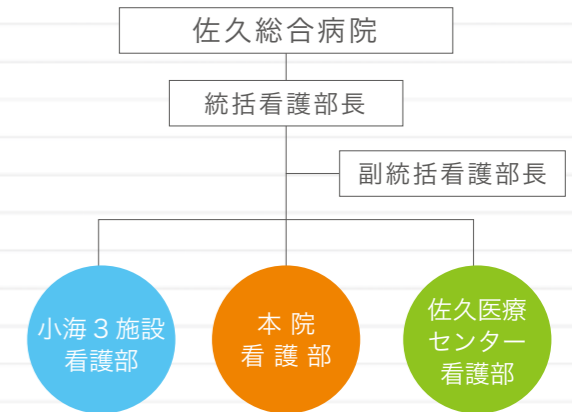
私たちは佐久総合病院理念に基づき、農村および地域の尊い生命と健康を守り、すべての人々がその人らしく明るく生きられるように、看護をつうじて援助します。

### 佐久総合病院グループ 看護部方針

- 1 専門性を高め、それぞれの施設の役割に沿った質の高い看護・介護を提供する
- 2 専門職として自己研鑽に努める
- 3 病院経営に組織の一員として参画する



### 佐久総合病院看護部組織図



## 信頼される質の高い看護を

佐久総合病院グループは、長野県東信地域の佐久医療圏において、佐久総合病院（本院）と佐久医療センター、小海分院の3病院を拠点に医療を提供しています。佐久総合病院（本院）と小海分院は保健・医療・福祉・介護を中心に、開院から続く「地域のなかへ」入ってゆく医療に取り組んでいます。佐久医療センターは三次救急と高度専門・急性期医療に特化しており、東信地域の基幹病院の役割を担いながら、県内外の紹介患者さんを受け入れています。

この他、診療所や老人保健施設、訪問看護ステーションなどを有し、各施設が専門性を活かしながら連携・協働して地域に根ざした活動を続けています。

地域に信頼される看護を提供するためには、人材育成が要と考えています。急性期から訪問看護・保健・福祉・介護まで、幅広い分野に関われることを強みとして、一人ひとりが専門職として自律した看護師を目指せるよう教育支援に力を入れています。

看護職としての夢や可能性を実現させ、地域に貢献していくために、私たちと一緒に働きましょう。

佐久総合病院統括看護部長  
まるやま みすず  
丸山 美鈴



## 病気の看護だけでなく、病人の看護が大切

今の医学は「病気をよく診るが、病人は忘れている」と、よくいわれます。よくそのようなお医者さんがいるではありませんか。患者の社会的立場や、経済的な負担や、家庭内の事情や、だれにもいえない精神的な悩みなどを、まったく無視して、レントゲン画像や血液検査の成績だけで、まるで懸賞のパズルでも解くみたいな態度で診察しているお医者さんを――。それをそばでみていて、何かものたりなく、いや、義憤さえ感じた経験はありませんか。

しかし、では、ナースの皆さんご自身はどうでしょうか。みずからかえりみて、果たして「病気の看護のみならず、病人の看護までを」やっていると、はっきり断言できるでしょうか。

いうまでもなく、ほんとうの看護は、単に患者の身のまわりの世話をしたり、単に検温・検脈や、洗腸・導尿や、注射などの診療の補助をするだけではありません。ほんとうに、患者の親身になり理解者となって、患者の安心を得させるには、――また患者の精神面にまで立ち入った鋭い病状観察を行なうには、患者そのもの、その人間を深く把握しなければならない。

それには、患者の「見かけの」身体や精神状態の観察だけではとうていだめです。その背後にある、家庭や社会の環境なり条件なりを知らずして、どうして、その「人間」つまり社会的人間あるいは精神的人間を深く把握することができるでしょうか。



佐久総合病院名誉総長 若月 俊一



## 保健予防活動

当院が力を入れている保健予防活動は、予防・早期発見をめざし、1959(昭和34)年に地域ぐるみの活動として旧八千穂村全村健康管理活動が始まりました。その後1973(昭和48)年に健康管理センターを開設し、以来長野県下全域で巡回健診方式による集団健康スクリーニングを実施してきました。現在は年間約2万人の方に受診いただいております。健康診断や各種がん検診、保健指導など住民のニーズに合わせた事業を展開するほか、企業などのストレスチェックも実施しています。地域づくりやコミュニティ・ネットワークづくりを大切に、一人でも多くの方が年1回の健康チェックを受けていただけるよう、健康格差の改善に取り組んでいきます。



## 地域ケア活動



佐久総合病院は、3カ所の訪問看護ステーションと2カ所のサテライトのほか、精神科訪問看護ステーションを運営しており、365日24時間体制で佐久地域の在宅ケアを提供しています。看護師がご自宅を訪問し、その人らしい暮らしの維持・回復を支えるために日々活動しています。

また、地域ケア科はNPO法人「うすだ美図」と協働し、佐久市白田健康活動サポートセンター(通称：うすだ健康館)の運営にも取り組んでいます。地域の保健室として、健康づくりや予防、生活に関する情報発信や相談対応を行い、住民の皆さまの身近な支えとなっています。地域に深く入り込み、住民とともに歩む活動を通して、看護の力で“生きがいのある豊かな地域づくり”に貢献していきます。

## 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終えて病状が安定した患者さんが、自宅へ戻る準備を行う病棟です。在宅復帰に向けて看護師や介護福祉士が協働しながら、身体機能の回復や生活環境の調整を行い、その人らしい暮らしが送れるようサポートしています。

また、他病棟の入院患者さんも参加できる院内デイケアを開き、季節の行事などレクリエーションを通して、他者との交流の場作りをしています。患者さんの穏やかな笑顔や楽しそうな様子を見ることは、私たちの励みにもなっています。



## 施設概要

- 所在地 〒384-0301 佐久市白田197
  - 許可病床数
 

一般病棟	126床
地域包括ケア病棟	42床
回復期リハビリ病棟	48床
精神科病棟	休床中
人間ドック	23床
合計	275床
  - 入院基本料
 

一般病棟	10対1
地域包括ケア病棟	13対1
回復期リハビリ病棟	13対1
  - 関連施設
    - ・ 佐久総合病院老人保健施設 94床
    - ・ 健康管理センター
    - ・ 訪問看護ステーション 3カ所  
(うち在宅介護支援事業所併設1カ所)
    - ・ 訪問看護ステーションサテライト 2カ所
    - ・ 精神科訪問看護ステーション 1カ所
    - ・ 居宅介護支援事業所(単独)3カ所
    - ・ 宅老所「やちほの家」
- (2026年4月1日現在)

地域に愛され、信頼される看護を目指します。

統括看護部長  
丸山 美鈴



佐久総合病院は、1944年白田の地に開院しました。現在も白田に「佐久総合病院(本院)」があり、一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、人間ドックで構成されています。精神科病棟は現在休床中ですが、精神疾患を抱えながら地域で暮らす方々を、外来・訪問看護・デイケアを通して支えています。

また、訪問看護ステーションや老人保健施設、宅老所なども運営し、「暮らし」に視点を置いた看護と介護、地域ケア活動に力を入れています。このほか、人間ドック科による健康診断や、健康管理センターによる地域に出向いた集団健康スクリーニングなどの保健予防活動を通じて、健康づくりを支援しています。

当院は、地域包括ケアシステムの中で、地域の皆さまがその人らしい人生を送り、住み慣れた地域で安心して最期まで暮らせるよう、病院の立場から支援しています。人のつながりを大切にしたい地域づくりに、保健・医療・福祉・介護をもって協同の精神で取り組んでおり、自分の夢やライフワークに合わせたキャリアアップが可能です。

私たちと一緒に、地域に根ざした医療・看護を実践しましょう。

## 本院 Photo Gallery



1947(昭和22)年から続く病院祭



患者さんのクリスマスコンサート



1961(昭和36)年から続く農村医学夏季大学講座



一緒に働きませんか？  
地域医療支援病院で

副統括看護部長  
堀内 清美



佐久医療センターは、救急・急性期医療から専門医療を担う、地域の中核病院です。救命救急センター、脳卒中・循環器病センター、がん診療センター、周産期母子医療センター、高機能診断センターの5つの専門機能を備え、最先端の医療機器と多職種の専門性を活かしたチーム医療を実践しています。

地域医療支援病院として、地域の医療機関と紹介・逆紹介を通じて連携を深め、住民の皆さんが安心して暮らせる医療体制づくりにも力を注いでいます。

看護部では、「農民とともに」の理念を大切に、患者さん一人ひとりに寄り添う温かい看護を提供しています。その実現のために、キャリアラダー研修をはじめとした教育体制を充実させ、豊かな人間性と確かな専門性を備えた看護職の育成に取り組んでいます。

また、特定行為研修修了者を含む20名以上の専門・認定看護師が活躍しており、専門性を活かした看護実践ができる環境が整っています。特定行為研修の指定受入機関として、院内だけでなく地域の看護師育成にも貢献しています。

私たちは、やりがいを感じながら成長でき、安心して働き続けられる職場づくりを目指しています。当院で仲間とともにチーム医療を支え、地域に貢献する看護を実践してみませんか。

## 施設概要

● 所在地	〒385-0051 長野県佐久市中込3400-28	
● 許可病床数	一般病棟	372床
	救命救急病棟	20床
	ICU	16床
	HCU	20床
	NICU	6床
	GCU	12床
	感染症病床	4床
	合計	450床
● 入院基本料	一般病棟	7対1
	救命救急病棟	4対1
	ICU	2対1
	HCU	4対1
	NICU	3対1
	GCU	6対1

(2026年4月1日現在)

## フライトナース

佐久総合病院は、2005年に長野県初のドクターヘリ基地病院として信州ドクターヘリの運用を開始しました。2014年には佐久医療センターへ移設され、20年以上の運用実績を持ち、運行回数は7,000回を超えています。

当院では、10名以上のフライトナースが活躍しています。フライトナースはフライトドクターとともにヘリコプターに搭乗し、重症患者さんのもとへ短時間で駆けつけ、初期治療を行いながら病院へ搬送します。救急現場では、救急度や重症度を迅速に判断する知識と技術、そして医師をはじめとする多職種との円滑なコミュニケーション能力が求められます。



## 中央手術室



当センターは、地域の高度急性期医療を支える中核病院として、年間6,000件を超える手術を施行しています。特に、24時間体制で年間2,000件以上の緊急手術を受け入れており、一分一秒を争う現場で、質の高い医療・看護を提供しています。

看護師は多職種チームの中心となり、高度な判断力と技術を発揮し、ハイリスクな症例にも柔軟に対応しています。また、ロボット支援手術をはじめとする最先端設備を積極的に活用し、安全・安心な手術を提供しています。

## 患者サポートセンター

### 入退院支援室

各科外来で入院が決まった患者さんへの入院説明、準備・調整などを行っています。特に手術を受ける患者さんには術前検査や周術期に関するマネジメントを行い、安全に手術を受けていただけるよう取り組みます。また、インスリンなどの自己注射や在宅酸素療法などを行っている患者さんが自宅でも安心して生活できるよう支援します。



### 地域医療連携室

患者さんが地域で安心して生活できるように、医療・介護福祉をはじめ各関係機関と連携しながら、紹介・退院・転院において支援・調整を行います。高度・専門医療を担う地域医療支援病院として、入院患者さんが適切な時期に適切なところで退院・転院できるように、入院早期または入院前から医療ソーシャルワーカーと協働して支援しています。

## 医療DX

当院では、デジタル技術を駆使した「医療DX」を推進しています。ベッド稼働状況の自動更新や入院案内動画の活用で業務負担を軽減。さらに、iPhoneによる情報共有の迅速化、生成AIによる文書作成支援など、最先端技術を積極的に導入しています。

## 佐久医療センターPhoto Gallery



佐久医療センター秋祭り



病院敷地内「いきいきの森」



さまざまなコンサートが開催される「いこいの広場」



## K 小海分院 Komi Branch Hospital

## K 小海診療所 Komi Clinic

JR小海駅の駅舎に併設された利便性を活かして外来診療・フットケア外来のほか、訪問診療を展開し医療と看護の両面から暮らしを支える取り組みをしています。地域に密着した親しみやすい丁寧な対応を心掛けている診療所です。

また、各福祉施設との連携から地域包括ケアを展開するとともに、研修医などの「地域保健・地域医療研修」施設として人材育成の役割も果たしています。在宅から外来・入院において、切れ目のない医療とケアが提供できるよう地域に根ざした活動をしています。



病院でも、在宅でも、皆が笑顔。



副看護部長  
友野 薫

のどかな小海線の列車の音が響き、千曲川近くの自然豊かな八ヶ岳の東側に位置する地に、小海分院・小海診療所・老人保健施設こうみの3つの施設があります。

小海分院は、南佐久南部地域のかかりつけ病院として地域住民のいのちと暮らしを守る医療・保健活動をしています。予防活動から救急医療、在宅療養支援まで幅広い看護ができることが大きな魅力です。

小海診療所は、在宅支援診療所として訪問診療を展開し、併設している訪問看護ステーションとともに、医療と看護の側面から住み慣れた地域での暮らしを支えています。

老人保健施設こうみは、入所や通所によって利用者さんの機能回復を促し、介護者を支える大きな力となっています。

地域の人々が望む暮らしの実現のために、包括的な支援と連携をとっているこの3つの施設で魅力的な「つなぐ看護」を実践してみませんか？

### 施設概要

#### 小海分院

- 所在地 〒384-1103  
長野県南佐久郡小海町大字豊里78
- 許可病床数 一般病棟  
(地域包括ケア病床8床含む) 50床  
医療療養型病棟 49床  
合計 99床
- 入院基本料 一般病棟 10対1  
(地域包括ケア病床含む)  
医療療養型病棟 20対1

#### 小海診療所

- 所在地 〒384-1102  
長野県南佐久郡小海町小海4269-9
- 関連施設 訪問看護ステーション  
居宅介護支援事業所

#### 老人保健施設こうみ

- 所在地 〒384-1102  
長野県南佐久郡小海町小海4487-1
- ベッド数 80床

(2026年4月1日現在)

## K 老人保健施設こうみ Komi Health Care Facility for the Elderly



南佐久南部地域において唯一、理学療法士・作業療法士が在籍しており充実したリハビリテーションを提供しながら入所や通所によって利用者さんと介護者の生活を支える老人保健施設です。温泉風の岩風呂がある通所サービスでは身体状態に合わせて誰もが無理なく楽しめる活動を取り入れています。また入所サービスでは隣接する土村公園の四季折々の野花を楽しみながら利用者さんのペースで生活ができるようケアを提供しています。ご高齢の方でも在宅復帰を目指して利用される方も多くいらっしゃいます。

医療機関や在宅介護サービス事業所との連携を密にしながら心のこもった質の高い介護サービスを提供している施設です。

## 地域へ出向く活動

小海三施設(小海分院、小海診療所、老人保健施設こうみ)では地域の行事に参加しながら、医療・保健・福祉の啓発活動を行っています。南佐久郡南部地域の各町村で行われる健康福祉祭りでは、時代劇をモチーフにした演劇を上演したり、健康や疾病予防をテーマにしたパネル展示をしたり、さまざまな企画を通じて「住民の皆さんが楽しみながら自分の身体や医療のことを知り、関心が持てる」よう取り組んでいます。

“農村に入ったら、演説ではなく演劇をやれ”という宮沢賢治の教えに基づいた地域の中へ入る活動、若月俊一医師の目指した「医療の民主化」の運動精神を今も色濃く引き継ぎ、実践しています。



### 小海Photo Gallery



ご自宅へ訪問看護



3階病棟



こうみふれ愛秋まつり

# 生き生きはたらく **スペシャリスト** たち

# 佐久総合病院で活躍する **介護福祉士**

## 診療看護師

・診療看護師  
**高見澤 巧**



診療看護師は看護学を基礎に医学を学びます。看護の「看る」と医学の「診る」を合わせた総合力でタイムリーに病態を判断し、円滑に診療につなげ、重症化などを防止するとともに、患者さんのQOL向上を図る役割があります。

医学の「診る」を磨くために、指導医のもと総合診療科外来における医療面接や身体診察、また入院患者や老健施設入所者の病態変化への対応を経験させていただいています。そのほか、気管カニューレ交換・胃瘻交換においても指導を受けながら経験を積んでいます。

看護師経験で培った「看る」と合わせて、その患者さんにとって最善の医療を提供できるように心がけて活動していきます。

## 認定看護師

・がん化学療法看護  
認定看護師  
**新井 まさ枝**



今は、日本人の2人に1人ががんになる可能性のある時代です。がん治療において薬物療法は、手術や放射線療法と並んで重要な役割をもっています。がん薬物療法は年々進歩してきており、さまざまな種類のがんや進行がんにも適応が拡大してきています。

がん薬物療法の多くを佐久医療センターの外来で行なっています。副作用症状を予防し、早期発見、早期対処が行えるように、適切な投与管理や症状マネジメントが重要になります。患者さんや患者さんを支えるご家族が安心して治療を受けられるようお手伝いしていきます。

## 特定看護師

・心不全看護認定看護師  
・特定行為研修修了看護師  
**青木 芳幸**



皆さんは「特定看護師」をご存知でしょうか？ 特定看護師とは、高度な専門知識や技術をもって診療の補助を行う看護師のことです。私は心不全看護認定看護師として5年のキャリアを積んだ後、さらにケアの可能性を広げるため特定看護師の道を選択しました。

現在は循環器グループ専属の看護師として、心臓血管外科患者さんの術後管理や心不全看護外来などの役割を担い、ICUから外来まで横断的にケアを提供しています。

日頃から「目の前の患者さんには何が必要か？」を考え、多職種と連携しながら迅速で質の高いケアの提供を目指しています。

## 当院の専門・認定看護師

診療看護師 (1名)

専門看護分野 (3名)

小児看護、遺伝看護、在宅看護

認定看護師分野 (28名)

救急看護、糖尿病看護 (2名)、緩和ケア、集中ケア、がん化学療法看護 (2名)、がん性疼痛看護、小児救急看護、訪問看護、在宅ケア、皮膚・排泄ケア (3名)、感染管理 (4名)、乳がん看護、摂食・嚥下障害看護 (2名)、心不全看護、精神看護、認知症看護 (2名)、脳卒中看護、呼吸器疾患看護、がん放射線療法看護

認定看護管理者 (3名)

特定行為研修修了者 (16名)



佐久総合病院グループ内には、病院だけではなく、老人保健施設や居宅介護支援事業所などがあり、さまざまなフィールドで介護福祉士が専門性を活かして活躍しています。

### ● 老人保健施設 ●

デイケアやショートステイによる在宅支援や入所によるケアプランに沿った個別ケアを提供しています。

### ● 回復期リハビリ病棟 ●

機能的自立度評価表 (FIM) を活用した退院支援を行います。

### ● 療養型病棟 ●

医療依存度が高く長期療養が必要な患者さんへのアクティビティや終末期ケア、退院支援を行います。

### ● 地域ケア科・居宅介護支援事業所 ●

介護の現場で培った経験をもとにケアマネジャーとして活躍します。在宅所では地域に根ざした認知症ケアを提供します。

### ● テクノエイドの活用推進 ●

院内でのさまざまな福祉用具の活用推進、教育、相談支援を行なっています。患者さんにも、看護・介護を提供する職員にとっても優しい環境づくりを進めています。

※ワークライフバランスを配慮し、出産、介護など、夜勤勤務ができない状況になっても働き続けられる職場があります。



老人保健施設こうみ  
介護福祉士長  
**新海 由美**

介護福祉士は、老人保健施設 (佐久・こうみ) の他に回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養型病棟の医療部署でも多職種と協働しながら介護の専門性を発揮して活躍しています。また、院内のケアマネジャーの大半は介護福祉士が担っており、その役割は大きく、なくてはならない存在です。

部署ごとに役割は異なり、多様な技術、知識が必要となるため、求められるものは多くありますが、その分自身の視野が広がり、やりがいやスキルアップにもつながります。

1987年佐久老人保健施設の開所時は、介護福祉士は0名でしたが、徐々に人数は増え続け、37年の月日を経て令和7年度現在、佐久総合病院で働く介護福祉士は102名となりました。無資格者であっても3年間の実務経験を積んだ後、介護福祉士資格を取得する職員もいます。皆さんが活躍できる場所は準備されています。私たちと一緒に介護福祉士の専門性を大いに発揮してみませんか？

## 介護福祉士 介護実践能力

レベル	介護実践能力の各レベル定義
レベル I	基本的な介護手順に従い必要に応じ助言を得て介護を実践する
レベル II	標準的な介護計画に基づき自立して介護を実践する
レベル III	標準的な介護計画に基づき個性を活かして介護を実践する
レベル IV	幅広い視野で予測的判断を持ち介護を実践する

### レベル I 必須研修

- ・テクノエイドを活用した移乗援助
- ・介護過程・リフレクション研修 (前編)
- ・認知症・リフレクション (後編)

### レベル II 必須研修

- ・介護福祉士テクノエイド研修会 (中級・上級) 課題分析: 本所主催
- ・介護福祉士テクノエイド研修会 (中級・上級) 事例発表: 本所主催
- ・アサーティブコミュニケーション

※専門・認定看護師の資格を取る際には補助・身分保証などの支援制度があります。

# 一人ひとりの

## キャリアアップを 目指して

### 佐久総合病院看護部教育理念

私たちは、病院理念、看護部理念、倫理綱領に基づいて質の高い専門的能力と豊かな人間性を備えた地域に貢献できる看護職員を育成します。

### 入職1年目イベントカレンダー Calendar



※フィジカルアセスメント…問診・視診・触診・聴診・打診を用いて、身体的、健康上の問題を明らかにし、看護ケアに役立てます。

## 集合教育と職場教育(OJT)を組み合わせた 新人教育

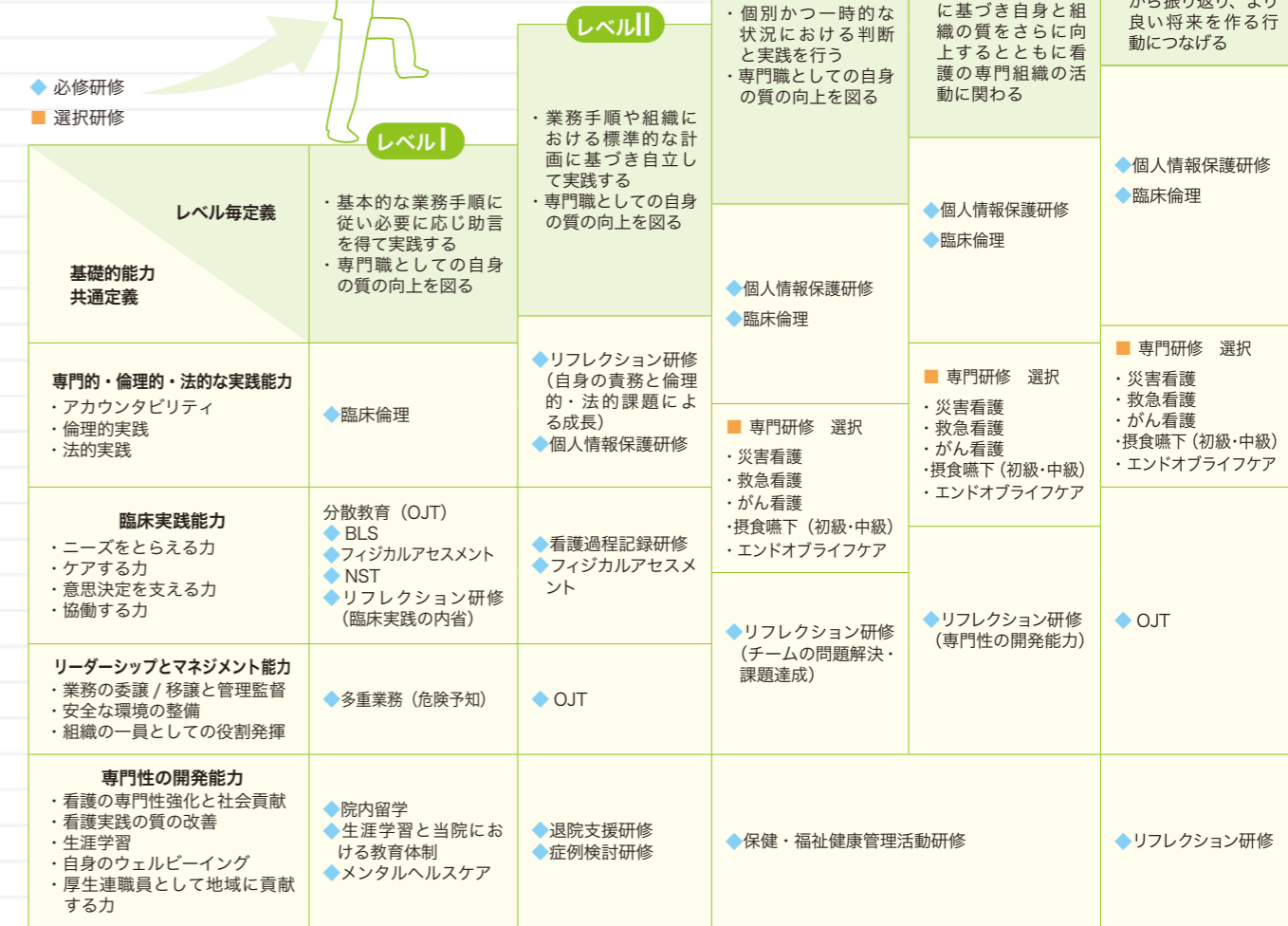
佐久総合病院グループでは、病院や部署ごとに求められる知識・技術が異なります。必要な能力を早期に身につけられるよう、集合教育と職場教育(OJT)を組み合わせ実施し、部署全体の看護の知識・技術の向上につなげています。



# 自己実現へ導く

## キャリアラダー

院内外研修やe-ラーニングを活用しながら  
生涯学習を支援しています



## 自施設での特定看護師養成

佐久医療センターは2021年2月、看護師特定行為における指定研修機関の認定を受け、同年4月から県内病院の看護師を対象に特定看護師を養成しています。

研修を修了することで、通常は医師が行う医療行為のうち特定の行為(特定行為)について、医師の手順書をもとに行うことができるようになります。特定行為は診療の補助として、より実践的な理解力、思考力・判断力ならびに高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされる行為であるため、より自律した看護師として、現場で患者さんのニーズにタイムリーに応えることができるようになります。

また、特定看護師は質が高く安全な医療を提供するための「チーム医療」を推進するうえでも欠かせない存在であり、近年、その役割がより重要視されてきています。



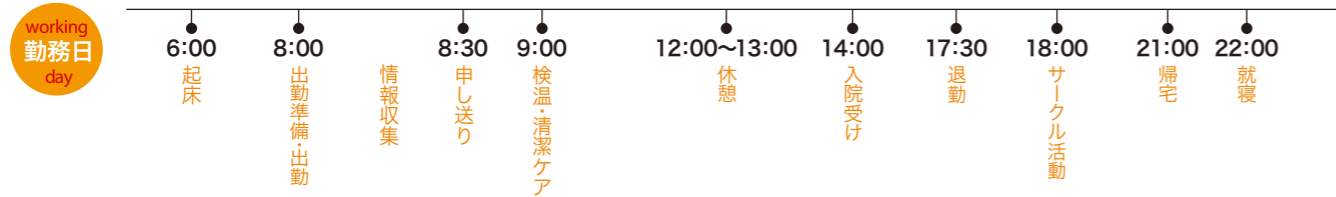
OSCE (客観的臨床能力試験)

# 先輩たちはどんな生活をしているの？

私は現在、総合診療科・内科・眼科の患者さんが入院されている病棟で働いています。いろいろな疾患を抱える患者さんがいるため、幅広い看護を学ぶことができます。新人のころは覚えることも多く不安がありましたが、スタッフの皆さんが優しく相談しやすい雰囲気のため少しずつ自信をもって働くことができています。サークル活動では卓球部に所属しており、部署を超えて交流できるのも楽しみの一つです。オンとオフの切り替えを大切にしながら、毎日働いています。



佐久総合病院  
南病棟  
布澤 妃奈子さんの一日



友人との旅行で 職場で 厚生連体育大会で、チームメイトと

## サークル活動も活発です

文化活動が盛んなことも当院の特長です。サークル活動を通じて、職種や世代を超えた幅広い人と知り合うことができます。一生大切にできる出会いがここにあります。

茶道、華道、舞踊、写真、ギター、吹奏楽、コーラス、野球部、バレー、卓球、劇団 などなど



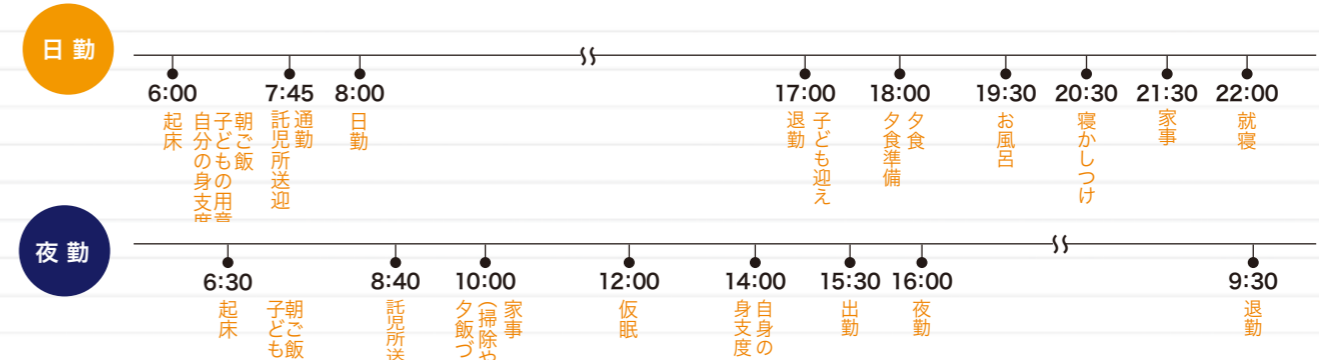
# はたらく環境を大切にしています。

たくさんの職員がはたらく病院だから、一人ひとりのライフスタイルに合わせた支援ができるよう体制を整えています。

- 保育所の設置
- 育児休業
- 育児のための短時間勤務制度
- 子育てサロン
- 復帰支援研修
- 家賃補助
- 介護休業

## Report はたらくママさん・パパさんレポート

佐久医療センター 2階南病棟  
小林 茜さん  
子育てとの両立のため夜勤回数を調整し、短時間勤務を行いながら、現在は2階南病棟で勤務しています。家庭の状況も相談しやすく、無理なく安心して働ける環境です。産休前に取得した排尿自立支援のスキルも、産後の業務に活かしています。



短時間勤務制度を利用しています！  
佐久医療センター救命救急センター  
倉嶋 芽久美さん  
フライトナースとしてのキャリアを継続するため、育休前と同じ救命救急センターへ復帰しました。子育てと両立しながら働けるよう、現在は時短制度を利用しています。生活が落ち着いたらフルタイムへ戻る予定です。ライフステージに応じた働き方を柔軟に相談できます。





佐久市は北陸新幹線で東京まで約1時間30分。高速バスで大阪や東京へのアクセスも良好です。



お問い合わせ

JA長野厚生連 佐久総合病院 人事課

所在地：長野県佐久市白田197 (〒384-0301)  
 電話：0267-82-3131(代表)  
 F A X：0267-82-9638(代表)  
 ホームページ：https://sakuhp.or.jp  
 E-mail：jinji@sakuhp.or.jp



佐久総合病院看護部 Web サイト